

栃木県地域公共交通計画に掲げるKPIの見直しについて

- 1 協議内容（県計画KPIの見直し）**
- 2 KPIの見直し理由**
- 3 KPI見直しの考え方**

1 協議内容（県計画KPIの見直し） ①現行の県計画KPI

※栃木県地域公共交通計画 P57 (第7章 計画の達成状況の評価)

第7章 計画の達成状況の評価

7-1 評価指標・目標値の設定

設定した目標ごとに達成状況の評価するための指標（評価指標）及び目標値を設定しました。評価指標は、進捗や効果を適切に評価できるか、今後も継続的なモニタリングが可能か等の観点から以下の指標を選定しました。

表 7-1 評価指標及び目標値

目標	評価指標	データ取得方法	現況値 ^{※1}	目標値 (令和10年度)
目標 i) 公共交通ネットワークの維持・形成	鉄道・バス等の利用者数 ^{※2}	交通事業者保有のデータにより毎年計測	23.6 万人/日 (平成30年度)	24.6 万人/日
	民間バス及び市町バス（デマンド除く）の1便当たり平均乗車密度	交通事業者、市町保有のデータにより毎年計測	3.3 人 (令和3年度)	4.8 人
目標 ii) まちづくり等と連携した公共交通サービスの充実	公共交通に関する満足度	県政世論調査により毎年計測	60 % (令和4年度)	60 %以上
	主要観光地の最寄り鉄道駅・バス停における乗降客数 ^{※3}	交通事業者保有のデータにより毎年計測	2.6 万人/日 (平成30年度)	2.6 万人/日
目標 iii) 各主体が共創した公共交通の運営維持	共創に係る事業の取組件数 ^{※4}	実施件数を毎年計測	24 件 (令和4年度)	50 件
	路線定期運行バスの平均収支率	交通事業者保有のデータにより毎年計測	44.4 % (令和3年度)	56.0 %以上

※1：データの整備年次により基準値の参照年度は前後している。

※2：「鉄道・バス等の利用者数」は、「とちぎ未来創造プラン」と整合を図り、基準値と目標値を設定。

※3：主要観光地は、栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設（日帰り公営温泉・入浴施設、自然・動植物園等、大規模公園・複合公園、社寺・史跡等）のうち、県央地域、県北地域、県南地域の最も観光客の多い「二社一寺（日光駅、東武日光駅、表参道停）」「なかがわ水道園（西那須野駅、田宿停）」「織姫公園（足利駅、足利市駅、通5丁目停）」を調査対象とする。なお、県南地域の最も観光客数が多いのは「あしかがフラワーパーク」であるが、最寄り鉄道駅の乗降客数に関するデータが未整備のため、次点の「織姫神社」を対象とした。

※4：共創に係る事業：創り（つくり）守り（まもり）育てる（そだてる）施策3-1、施策3-2に記載した内容等に取り組む事業。記載にない新たな取組については、「栃木県地域公共交通活性化協議会」にて選定する。

今回
協議箇所

1 協議内容（県計画KPIの見直し）

②県計画KPIの見直し（案）



栃木県
TOCHIGI
PREFECTURAL
GOVERNMENT

協議内容（県計画KPIの見直し）

栃木県地域公共交通計画（以下「県計画」）に掲げる評価指標のうち、
「共創に係る事業の取組件数」目標値を上方修正（50件→80件）することとしたい

【現行】※改訂前

目標	評価指標	計画策定時 現況値	計画最終年度 目標値
目標iii) 各主体が共創した 公共交通の運営維持	共創に係る事業の 取組件数	24件 (R4)	50件 (R10)

【見直し（案）】※改訂後

目標	評価指標	計画策定時 基準値	計画最終年度 目標値
目標iii) 各主体が共創した 公共交通の運営維持	共創に係る事業の 取組件数	24件 (R4)	80件 (R10)

+ 30件
に上方修正

県計画KPIの見直しの理由

県計画策定時からの状況の変化(見直し理由①・②)に伴い、更なる取組の強化を図るため

見直し理由 ①

県計画1年目の実績

- ✓ 評価指標「共創に係る事業の取組件数[※]」について

※累計ではなく、時点集計のため、
事業廃止等があれば、年度により数値が減少することもある。

▶ 現行の目標値 50件 (R10)

▶ 直近の実績値 48件 (R6) → 取組開始1年で概ね目標達成 (達成率96%[※])

- ✓ **県計画1年目の実績を踏まえ、残り4か年度(R7~R10)における更なる取組の強化が可能**

見直し理由 ②

次期総合計画KPIとの整合

- ✓ 現在、県庁内では、県政の基本指針とする次期総合計画 (R8~R12) の策定作業中
- ✓ 地域交通の重要性に鑑み、次期総合計画KPIの一部に県計画の評価指標のうち3つが採用
 - ▶ 「鉄道・バス等の利用者数」、「公共交通に関する満足度」、「**共創に係る事業の取組件数**」
- ✓ 直近の実績値(R6:48件)のもと、**次期総合計画の策定のタイミング**に合わせてKPI数値を再精査

3 KPI見直しの考え方

①直近R6実績値による次期総合計画KPIとの整合



▶次期総合計画（R8～R12）（案）

	R4	R5	R6 次期総合計画策定時の 現況値	R7	R8 次期総合計画 始期	R9	R10	R11	R12 次期総合計画 終期
共創に係る 事業の取組件数	—	—	48	—	取組の強化を図り、1か年度10件の増加を目指す想定 (※直近のR6現況値(48件)を踏まえ、KPIを再精査)				
					60	70	80	90	100

▶県計画（R6～R10）の見直し（案）

	R4 県計画 策定時の 現況値	R5	R6 (R6実績値) 県計画 始期	R7	R8	R9	R10 県計画 終期	R11	R12
共創に係る 事業の取組件数	24	—	(48) 30	50 35	60 40	70 45	80 50	県計画 期間外	県計画 期間外
元々は1市町1件（計25件）、1か年度5件の増加を目指す想定									

次期総合計画KPIに整合する
県計画KPIの見直しを実施

※栃木県地域公共交通計画 P57 (第7章 計画の達成状況の評価)

第7章 計画の達成状況の評価

7-1 評価指標・目標値の設定

設定した目標ごとに達成状況の評価するための指標(評価指標)及び目標値を設定しました。評価指標は、進捗や効果を適切に評価できるか、今後も継続的なモニタリングが可能か等の観点から以下の指標を選定しました。

表 7-1 評価指標及び目標値

目標	評価指標	データ取得方法	現況値 ^{※1}	目標値 (令和10年度)
目標ⅰ) 公共交通ネットワークの維持・形成	鉄道・バス等の利用者数 ^{※2}	交通事業者保有のデータにより毎年計測	23.6万人/日 (平成30年度)	24.6万人/日
	民間バス及び市町バス(デマンド除く)の1便当たり平均乗車密度	交通事業者、市町保有のデータにより毎年計測	3.3人 (令和3年度)	4.8人
目標ⅱ) まちづくり等と連携した公共交通サービスの充実	公共交通に関する満足度	県政世論調査により毎年計測	60% (令和4年度)	60%以上
	主要観光地の最寄り鉄道駅・バス停における乗降客数 ^{※3}	交通事業者保有のデータにより毎年計測	2.6万人/日 (平成30年度)	2.6万人/日
目標ⅲ) 各主体が共創した公共交通の運営維持	共創に係る事業の取組件数 ^{※4}	実施件数を毎年計測	24件 (令和4年度)	80件
	路線定期運行バスの平均収支率	交通事業者保有のデータにより毎年計測	44.4% (令和3年度)	56.0%以上

※1: データの整備年次により基準値の参照年度は前後している。

※2: 「鉄道・バス等の利用者数」は、「とちぎ未来創造プラン」と整合を図り、基準値と目標値を設定。

※3: 主要観光地は、栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設(日帰り公営温泉・入浴施設、自然・動植物園等、大規模公園・複合公園、社寺・史跡等)のうち、県央地域、県北地域、県南地域の最も観光客の多い「二社一寺(日光駅、東武日光駅、表参道停)」「なかがわ水道園(西那須野駅、田宿停)」「織姫公園(足利駅、足利市駅、通5丁目停)」を調査対象とする。なお、県南地域の最も観光客数が多いのは「あしかがフラワーパーク」であるが、最寄り鉄道駅の乗降客数に関するデータが未整備のため、次点の「織姫神社」を対象とした。

※4: 共創に係る事業: 創り(つくり)守り(まもり)育てる(そだてる)施策3-1、施策3-2に記載した内容等に取り組む事業。記載にない新たな取組については、「栃木県地域公共交通活性化協議会」にて選定する。

KPI見直し後
(※県計画の改訂後)